

ふじかわぐちこ 議会だより

Fujikawaguchiko



Vol.68
2020.11

CONTENTS

- 議長就任あいさつ 2P
- 第3回定例会 3P
- 決算特別委員会 7P
- 一般質問 14P
- 委員会構成 16P
- 議員賛否・議会活動日程 17P
- 窓・議会見聞録・編集後記 18P

大石小学校 秋季運動会



議長・副議長 就任

令和2年第3回定例会が9月8日開会されました。

本会議において、議長選挙が行われ、第18代議長に中野貴民議員が当選し、副議長に古屋幹吉議員が就任しました。



副議長

議 長

古屋 幹吉 議員

中野 貴民 議員

◆議長就任あいさつ

富士河口湖町議会議長 中野 貴民

富士河口湖町議会議長という重責に就任いたしまして、身に余る光栄であるとともに責務の重大さを感じ、身の引き締まる思いでございます。さて、新型コロナウイルス感染症は、世界規模で大きな被害が発生しており、収束の目途は依然としてついておりません。

大きな不安を抱きながら、生活されている方がほとんどではないでしょうか。ワクチンや特効薬の開発が待たれますぐ、それまで何もしないということでは生活が成り立ちません。感染症対策をし、経済を動かさなければならぬといいう大きな課題に直面しております。先行きの見通しがつかない中で、答えが導き出せていないのが現状だと言えます。「命を守る」ための感染対策、「暮らしを守る」ための経済対策のブレーキとアクセルを上手に使いながら前に進んでいく必要があります。日々変わる感染症の状況、低迷を続ける経済状況。観光地である当町は、特に大きなダメージを受けています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、当町の財政は、これまでよりも厳しさを増しております。過酷で辛いコロナ禍ではございますが、常に町民目線を重視し、町民の皆様からの負託にこたえるべく、議会と行政が緊張感を保ちながら対等な立場で議論を重ね、公平・公正で皆様に納得していただける議会運営に全力を尽くしていく所存でございます。

引き続き、皆様からのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、就任のあいさつとさせていただきます。

令和2年 第3回定例会

議案 **Pickup!** ピックアップ!!

こんなことが決まりました



9月定例会のありました

9月議会定例会は、9月8日から25日までの18日間の会期で開かれました。一般質問は2人の議員が登壇し、議論が交わされました。
提出案件は、報告、条例改正、補正予算、決算認定、同意・意見書、請願案件など55件で、審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。

報告

- 令和元年度決算に基づく財政健全化判断比率等の報告（P5）

- 富士河口湖町一般会計予算継続費精算報告書（防災行政無線デジタル化・学校施設長寿命化計画策定事業）

- 富士河口湖町手数料条例の一部改正

- 【内容】デジタル手続法の改正による字句修正

意見書・請願

- 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価（令和元年度対象富士河口湖町教育委員会点検及び評価報告書）

- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

条例改正

- 富士河口湖町固定資産評価審査委員会条例の一部改正

グリーン・ゾーン認証取得事業者補助事業

認証を受けた店舗内の様子

700万円



山梨県グリーン・ゾーン認証を受けた事業者に対する町補助事業
(5万円/件)

民間保育所等特別保育推進補助事業

ウブントゥ保育園

121万円



民間保育所の特別保育(1歳児保育)推進のための保育士の加配を促す補助事業
(幼児6人/保育士1人→幼児4.5人/保育士1人)

一般会計補正予算（第5・6回）

学力向上支援スタッフ等配置事業

配置されたスタッフ(勝山小)



小中学校においてコロナ禍による影響をフォローするため、学力向上支援スタッフ及びスクール・サポート・スタッフを配置

1,620万円

河口湖総合公園用地取得事業

総合公園駐車場用地

1億235万円

河口湖総合公園の利用者駐車場を確保するため用地を取得し、82台分の駐車スペースを確保

同意案件

● 富士河口湖町監査委員
倉沢 鶴義

- 商工振興災害対策資金補助事業 1255万円
- 法人町民税等還付金 2000万円
- 小児科・産婦人科オンライン無料相談業務委託 125万円

一般会計補正予算内訳
3億7121万円の増額

一般会計補正予算他2件が提案され、審議の結果、全員賛成で可決しました。

補正予算

(船津分団消防タンク自動車購入) 財産の取得 (船津小学校第3期造成工事)

契約議決2件

(商工振興災害対策資金貸付条例の一部改正) 条例の改正1件

● グリーン・ゾーン認証事業者補助事業 300万円

● 新型コロナウイルス感染症対策補正予算等を審議 303万円

● くぬぎ平スポーツ公園運動場備品購入費 1800万円

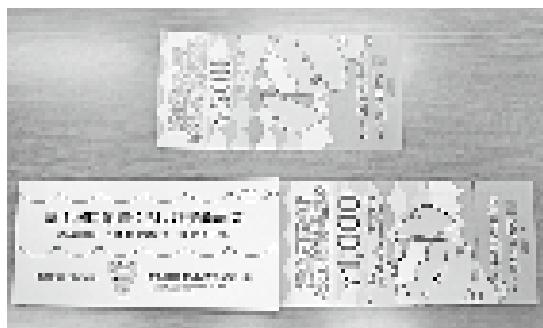
● 富士ヶ嶺バイオセンター修繕工事 1億2168万円

● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための各種イベント事業費減額 △6985万円

その他の補正事業

令和2年第2回臨時会が7月30日に開かれました。

臨時会情報



くらし応援商品券

(令和2年7月1日現在、住民登録のある方に商品券を1人、1万円配布) くらし応援商品券事業 2億8291万円

● 観光協会支援事業 1631万円
● GIGAスクールサポーター配置支援事業 257万円

● グリーン・ゾーン認証事業者補助事業 300万円



こういうことを
決めました!

令和2年 第3回

富士河口湖町議会定例会

決算認定については、令和元年度一般会計、31の特別会計及び公営企業会計について、議会選出の監査委員(渡辺武則議員)を除く15名の議員で構成された決算特別委員会を設置し、9月11日から16日まで審議しました。審議内容は7~13ページをご覧ください。

報告(3件)

○令和元年度決算に基づく財政健全化判断比率等の報告

	富士河口湖町の比率			早期健全化基準	財政再生基準	増減の要因
	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
実質公債費比率(※1)	8.8%	9.0%	9.2%	25.0%	35.0%	地方債の元利償還金が増加したことによる。
将来負担比率(※2)	52.7%	59.2%	56.3%	350.0%	—	実質の将来負担額が減少したことによる。

※1「実質公債費比率」とは、一般会計を含む普通会計とその他の対象会計の公債費など(年度の借金返済費用)を含む返済金費用合計が自治体会計の規模に対してどのくらいあるかを表す指標です。この実質公債費比率が18.0%になると、地方債の発行について県の許可が必要となり、25.0%を超えると「早期健全化団体」となり自主的な改善努力による「財政健全化計画」の策定や外部監査の要求が義務付けられることとなります。また、「財政再生基準」の35.0%以上となった場合、その年度末までに「財政再生計画」を定める必要がでてくることとなります。

※2「将来負担比率」とは、地方債残高、債務負担行為など普通会計とその他の対象会計が将来負担すべき実質的な負担額が、自治体会計の規模に対してどのくらいあるかを表す指標です。したがって、将来負担すべき債務が、自治体会計の規模に対して何倍あるかを示しています。この比率が350.0%を超えると「早期健全化団体」となります。

○一般会計予算継続費精算報告書

○令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

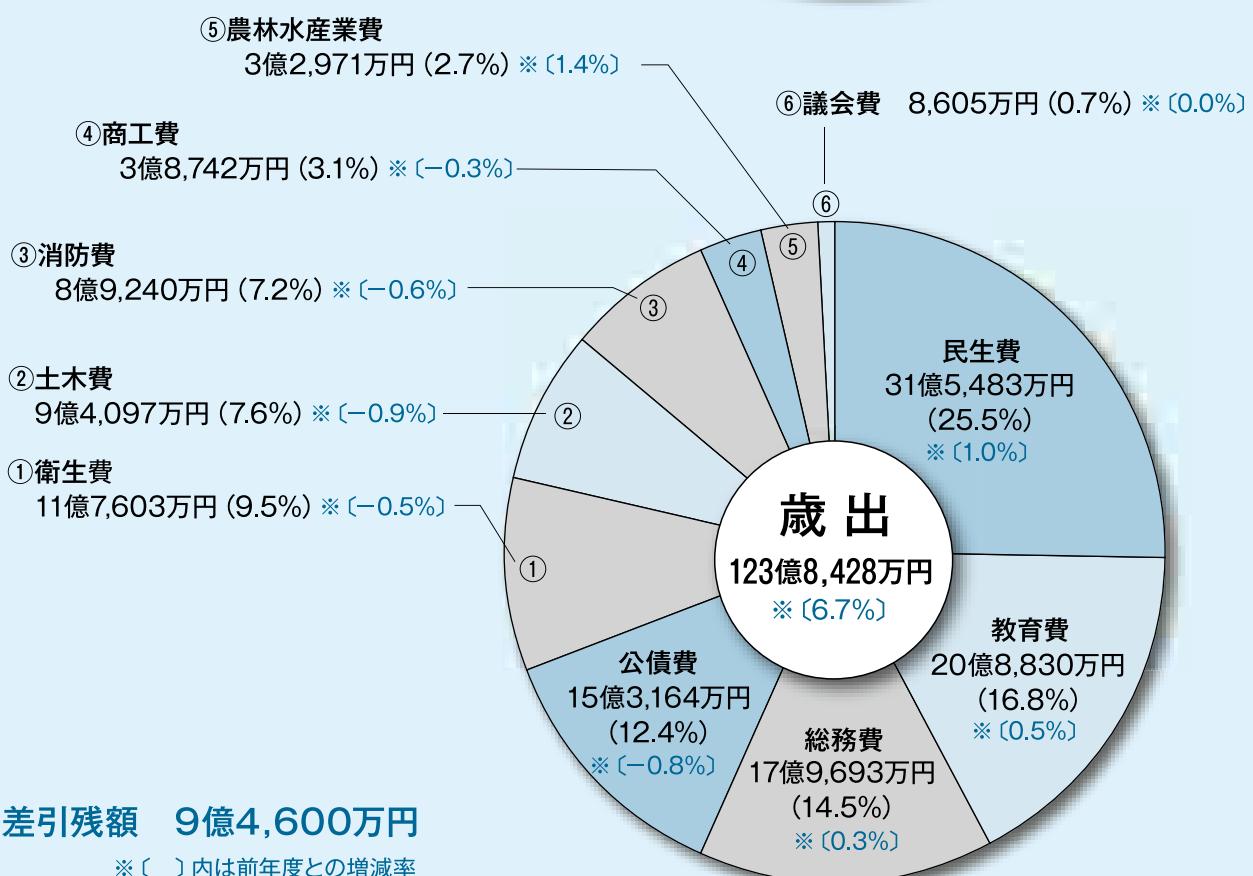
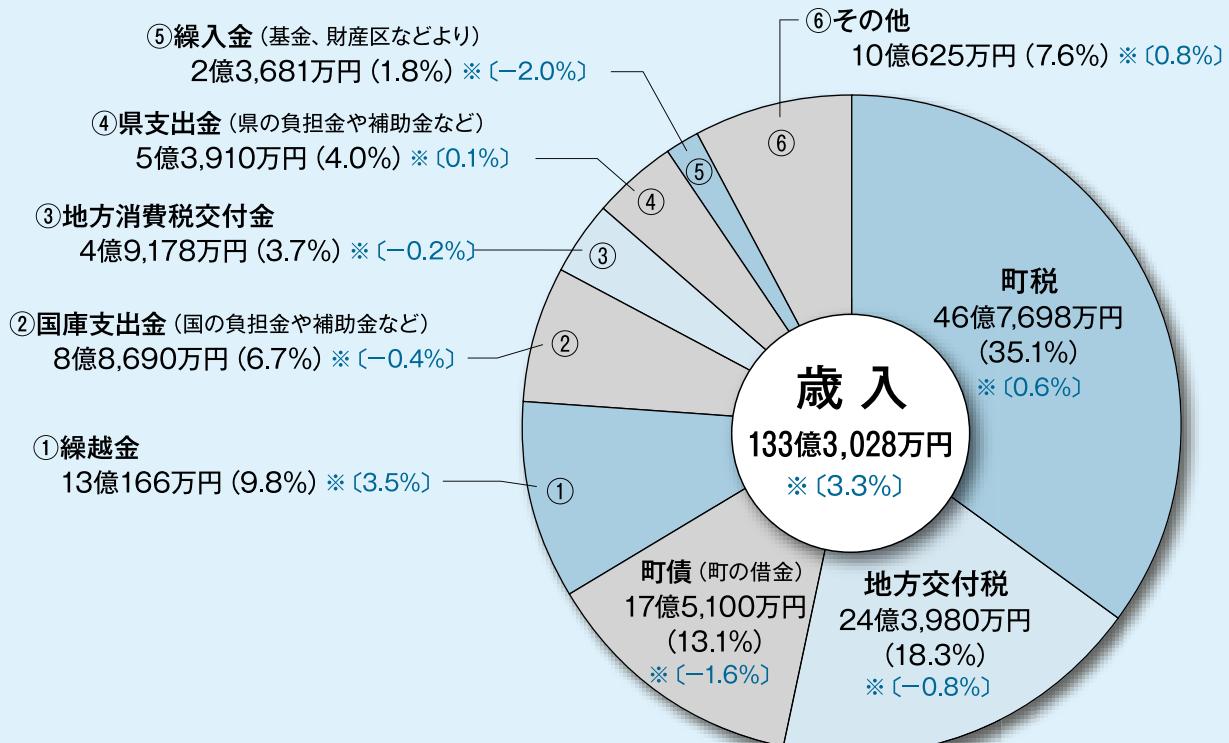
地方教育行政に関する法律の規定により見出しの事務の点検及び評価を実施し、その事業の評価や課題を毎年議会に報告するもので、効率的な教育行政を推進するとともに、これを町民に公表するものです。

詳細については、町ホームページをご覧ください。

富士河口湖町ホームページ ⇒ 各課の情報 ⇒ 学校教育課



令和元年度 一般会計決算の内訳





町の予算が どう使われたかを 審議

令和元年度決算



委員長
堀内 昭登
副委員長
渡辺 美雄

決算特別委員会

特別会計

国民健康保険

山下利夫委員

決算年度中、新型コロナ
ウイルスの影響による国保
税の減免件数と適用件数
は。

住民課長

8月末現在、申請件数・
適用件数ともに106件に
なる。

山下利夫委員

納付済の場合でも、適用
者は返金となるか。

住民課長

返金還付の対象になる。
2月・3月分の納期が対象
で、6月から申請開始。

山下利夫委員

減免の対象者にならない
方の対応は。

住民課長

納税相談等で対応してい
く。

山下利夫委員

過年度分の滞納により発
行されている短期保険証は
コロナ禍のもと、来庁でき
なくとも電話相談で郵送處

置かれているが、役場に留
め置きの世帯数は。

住民課長

6月現在で146世帯。
昨年度の同時期より50世帯
の減となる。

山下利夫委員

減少はしているが、コロ
ナ終息までは全世帯に正規
の保険証を発行すべきで
は。

住民課長

短期保険証については、
税の公平性も鑑み、時限的
に条件・期間等緩和し、柔
軟に対応していく。

介護保険

山下利夫委員

コロナ禍で、新規およ
び、変更認定の調査の状
況は。

健康増進課長

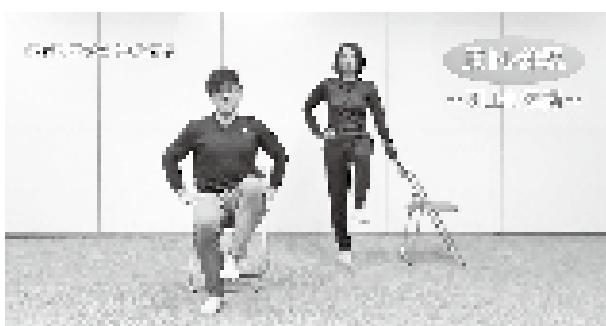
国は面会禁止施設の入所
者に対し、面会禁止の解け
た後の対応としているが、
町では施設・病院等と事前
に連絡をとり、感染予防対
策に準じて面会し、全ての
認定調査を行っている。

山下利夫委員

百歳体操等、介護予防事
業の今後の事業展開は。

健康増進課長

感染予防対策を講じ、9
月から順次再開している。
また、外出自粛の高齢者に
はCATVを通し、予防体
操の放映をするなど創意工
夫をしながら事業を推進し
ていく。



筋力アップ教室テレビ体操



水道事業会計

一般会計



【船津地区】水道管耐震化工事

山下利夫委員

決算年度の純利益約50

0万円が、そのまま利益

剩余金に積み上げられて

いる。料金を引き上げなくて

良かつたのでは。

水道課長

純利益の内、約4500万円は料金改定分だが、現状の財源は大半が企業債で、今年度も約1億1000万円の起債。借金に頼る割合を減らしていきたい。

町長
立とご理解頂きたい。

山下利夫委員

決算額が4億2700万

山下利夫委員

額は、起債可能金額全額の

円となっているが、この金

額は、起債可能金額全額の

発行か。

総務課長

100万円単位の限度額

となっている。

山下利夫委員

これは起債であっても1

00%地方交付税として扱

われる。財政が厳しくなる

なか、可能額全額を今後は

発行すべきでは。

総務課長

臨時財政対策債は地方交

付税の振替え財源なので、

これを除き行政運営するこ

とは困難な状況ではある

が、あくまでも地方債で

ある事を十分に考慮し、そ

の時々の状況により適切に
有効かつ、慎重に活用を図
つて行きたい。

差押えの件数は

山下利夫委員

差押えの件数は、

42件となっている。

税務課長

現年度課税の収入 未済額の対応は

三浦康夫委員

現年の課税分の収入未済

額を減らす対応は。

税務課長

滞納総額とか納付相談状況等、勘案しながら優先順位をつけて、効率的に徴収するようしている。

山下利夫委員

差押えの件数は、

固定資産税 不納欠損

小佐野快委員

固定資産税250件の不

納欠損の内容は。

税務課長

不納欠損については、行方不明や死亡、法人の倒産、生活困窮、無財産、破産等の方が対象となる。

町税滞納者への 対応は

山下利夫委員

滞納がある方への対応の

流れは。

税務課長

後、20日が経過した時点で督促状を送付し、その後、30日が経過しても納付されない場合、文書とか電話による督促を開始する。

福祉推進課長

200名を見込んでいる。

佐藤安子委員

86人が決算年度で申請して

いて、なかなか浸透していないが、今年度から具体的に改善したところは。

福祉推進課長

200名見込んだうちで

佐藤安子委員

本年度は、75歳以上で免

許を持っていない方全員、

免許返納者は年齢に関係なく該当することになった。

佐藤安子委員
その結果、現在どのくらいの申請状況になっているのか。

福祉推進課長

200名見込んだうちで

佐藤安子委員

本年度は、75歳以上で免

許を持っていない方全員、

免許返納者は年齢に関係なく該当することになった。

佐藤安子委員
その結果、現在どのくらいの申請状況になっているのか。

高齢者外出 支援事業

佐藤安子委員

高齢者外出支援事業、この決算年度から新しくスタートした事業で、予算の見込人数は。

佐藤安子委員

の決算年度から新しくスタートした事業で、予算の見込人数は。

令和2年8月末現在の人数は、バスが18名、タクシーバスが186名、合計104名で、このうち、要件緩和で該当になった人は40名になる。



木造住宅耐震化に関する補助金制度

渡辺美雄委員

今までの木造住宅の耐震診断の補助金利用件数は。

都市整備課長

平成24年から耐震診断が始まり、昨年までで合計で60件になる。

渡辺美雄委員

では、木造の耐震の設計と改修の累計は。

都市整備課長

平成24年からで、設計が14件、改修が14件。

渡辺美雄委員

これらの件数が少ない理由は。

都市整備課長

改修の補助率は3分の2

だが、限度額が120万円なので、工事費は180万円までが対象となるが、実際に180万円で耐震の改修ができないと思う。少なくとも300万円とか400万円という改修費がかかるので、限度額の120万円をもらつても個人負担が多く、なかなか改修に踏み切れないのではないか。



木造住宅耐震化工事

渡辺美雄委員

大事なことなので、できるだけ多くの制度を利用するように努力していただきたい。

三浦康夫委員

関連だが、住宅リフォーム補助金で改修を兼ねた場合は併用して使えるのか。

都市整備課長

耐震診断のリフォームについては、補助率が10分の2、限度額が20万円な

で、100万円以上のリフォームを同時にに行えば、耐震の改修と同時にリフォームの補助金も限度額20万

円を利用できる。

円を利用できる。
三浦康夫委員

補助金の率を将来的に上げていくことは考えていいのか。

都市整備課長

今のところ、国・県のほうの補助率も増減がないので、今までどおりの補助率でいきたいと考えている。

三浦康夫委員

できればもっとPRして

もらい、120万円に

ス20万円で140万円使

るということを議会だより

とか、町の広報を使ってお

知らせし、1件でも増える

ような努力をしてもらいたい。

山下利夫委員

側溝や浸透ますの詰まっているところの清掃は行われたのか。

都市整備課長

側溝や浸透ますの清掃については16か所、決算額では136万3000円になる。

側溝、浸透ます、舗装修繕、雨水対策工事

山下利夫委員

側溝や浸透ますの詰まっているところの清掃は行われたのか。

都市整備課長

側溝や浸透ますの清掃については16か所、決算額では136万3000円になる。

都市整備課長

今年度の舗装修繕費や雨水対策工事費も予算を確保後、随時工事を行っている。特に舗装修繕工事については令和元年度に国の補助金の対象外となり、補助金の代わりに町では交付税措置など有利な起債を活用するために、条件としての道路舗装個別施設計画を

昨年度策定し、これに基づき、今年度から長い距離の舗装改修を実施している。

来年度以降もこの計画に基づき、優先箇所等を考慮しながら予算を確保していく

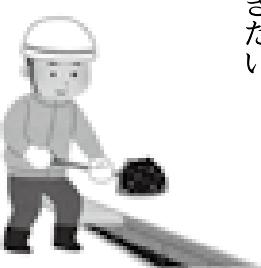
たいと考えている。また、雨水対策工事についても、

雨水対策工事の改善についても、雨水時の町内のパトロール実施、また町民からの要望なども含めて予算を確保していきたい。

山下利夫委員

今後、財政が厳しくなつていくことは予想されるが、こういった小規模な工事というのは予算もさほど大きくななく、生活道路の改善にもなるとともに地元業者の仕事にもなるので、ぜひ来年度以降も予算を確保して進めていただきたいが。

雨水時の町内のパトロール実施、また町民からの要望なども含めて予算を確保していきたい。





決算特別委員会

安定した教育環境

渡辺美雄委員

いじめ対策費は使わなかつたということだが、今、町内の小・中学校はそういうことはなく、非常に安定していると理解してもよいのか。

教育長

町内小学校8校、中学校2校、湖南中を含めて全11校において、昨年度も今年度もいじめの案件はない。いじめ問題対策委員会は、万が一の備えとして発足してない。

佐藤安子委員

教職員のストレスチェック事業が行われたが、先生方の健康状態はどんな状況なのか。

学校教育課長

今のところ、ストレスが非常に高いという先生はない。

山下利夫委員

教育センターが対応した教育相談は何件だったか。

教育センター長

令和元年度は、学習支援、問題行動、不登校等の相談があり、延べ件数で778件だった。ちなみに今年度相談件数は9月15日時点で456件。

山下利夫委員

不登校の子への対応はどういう対応をしているか。

教育センター長

3つの対応方法がある。まず1つ目は子どもに寄り添う、そして安心できる居場所であるという体制づくりを行う。学習支援が必要であれば学習支援、コミュニケーションが必要であればゲームやものづくり、センターで収穫した野菜等を調理しながら交流活動を行うこともある。2つ目は学校との連携。各学校との情報交換を行い、あくまでもセントラルは学校と家庭をつなぐ役割となっている。3つ目は、家庭的な問題等に

山下利夫委員

児童・生徒の家庭での過ごし方について対応が不十分の学校もあったが、その教訓と反省を生かし、4月から5月の間の休校時にはより丁寧な対応を行うよう心がけ実践した。具体的には一斉メールによる学校からのお知らせと伝達事項を定期的に行つた。さらに週1回の登校日を設けて、子ども達の家庭での様子の把握に努め、家庭での過ごし方について具体的に指導を行つた。その結果、3月の休校時にあつた苦情とか混乱等は、4月から5月にかけての長い期間の休校時は一切見られなかった。

コロナ禍の教育現場

教育長

方向で検討しているが、各学校へはできる限り実施に向けて取り組むようにお願いをしてきたが、既に勝山中学校が9月の初旬に実施し、今後も10月に、町内の小学校、中学校が実施する予定である。

教育長

山下利夫委員

今年3月の休校の際、どのように取り組まれていたのか。

河口湖美術館

渡辺美雄委員

河口湖美術館における地域経済活性化について伺う。



富士風穴

文化振興局長

様々な集客のためのイベント、また繁忙期でイベント等を行ってきた。

富士風穴の利活用

三浦康夫委員

富士風穴の駐車場の整備は。

社会教育係長兼文化財係長

富士風穴の駐車場は県有地で、周りも県有林であり、町ですぐに対応できないが、県で行っているエコツアーガイドラインの協議会で意見として伝えたい。



総括質疑

地域おこし協力隊

佐藤安子委員

大石臼の活性化に向けた
地域おこし協力隊の成果
は。

政策企画課長

住民が大石臼への関心を深めたことが、彼女たちの最大の成果であった。今年の3月に1名の隊員がお辞めになつたが、残つた隊員は、一生懸命それを継続しているという状況。

佐藤安子委員
来年以降の募集に対しては、どのような対応を行っていくのか。

政策企画課長

いるようであるので、それを利用したり、活動後、定着していくなどサポート体制も充実させていかなければいけない。

ふるさと納税
佐藤安子委員
ふるさと納税2億4166万2000円と、過去最高の件数と金額となつてゐるが、これをどのように分析しているのか。

宿泊施設を避難所に

渡辺英之委員

6月、町長と観光連盟との間で結ばれた、避難所利用についての協定だが、最大で6000人規模の避難者を受け入れるというよう

に聞いている。予算とか費用負担は、どのように考えているのか。

町長

災害が起きた場合、直ちに臨時会を開く。また予備費からの充当をもつて対応し、旅館等宿泊施設に実費を支払っていく。

佐藤安子委員
今後どのような取組をしようと思っているのか。

政策企画課長

今年度は中間ポータルサ

では、旅館のフリー・パス、ハイランド等のフリー・パス等を活用していきたい。

この制度は現在いろいろな弊害が出てきているの

町長

な弊害が出てきているの

町長

交付税は、基準財政需要額と基準財政収入額の差を国が出すという制度であるが、本来でなければ、地方へもつと財源を残すべきだ

議会だより
ふじかわぐちこ

国勢調査

倉沢鶴義委員

国勢調査は地方交付税に直結するが、これについての考えは。

算定の基準となる数値は、行政エリア面積、人口が基本になつてくる。調査員が漏れなく調べてくれることを希望する。



【返礼品】富士ヶ嶺牛乳





決算特別委員会

51・7%。（令和元年度数）
それから、自主財源比率は
番目である。忍野、山中、
昭和町、富士河口湖町。市
を入れても9番目である。
（令和元年度数は465で、
51・7%）。

倉沢鶴義委員
コロナの影響等を踏まえ、町の台所事情について伺いたい。
町長

現在、令和元年度末の起債残高、いわゆる借金残高は185億円。このうち合併特例債、約76億円の70%は国が面倒を見るので、53億円は国が支払うことになる。また、国が100パーセント面倒を見る臨時財政対策債は令和元年度末で63億円である。よって、起債残高185億円のうち純粹の起債残高は約69億円である。基金のほうは全部合わせると66億円持っている。よって、これらを差し引くと純粹の借金は約3億円である。また、財政力指数はここ二、三年続けて0・65である。県内の町村では4番目である。

それを表明して、私の総括とする。
町の財政状況

現在、令和元年度末の起債残高、いわゆる借金残高は185億円。このうち合併特例債、約76億円の70%は国が面倒を見るので、53億円は国が支払うことになる。また、国が100パーセント面倒を見る臨時財政対策債は令和元年度末で63億円である。よって、起債残高185億円のうち純粹の起債残高は約69億円である。基金のほうは全部合わせると66億円持っている。よって、これらを差し引くと純粹の借金は約3億円である。また、財政力指数はここ二、三年続けて0・65である。県内の町村では4番目である。

それを表明して、私の総括とする。
町の財政状況

度の状態においては、既に5億円の歳入減が見込まれる状況であり、10月から3月までの6か月間の事業の縮小も考えざるを得ない。財政調整基金等の甚だしい取崩しをして何とかもたせるという考えも持つている。更に、来年令和3年度、また再来年令和4年度の予算編成が成り立つかどうかという大変な危機感を持っています。今後は徹底した事務事業の見直しをかけ、強制的なシーリングをかけざるを得ないように思っている。

町の財政状況

令和元年度一般会計の地方債及び基金残高

町債残高

(単位:千円)

区分	令和元年度末現在高	交付税等の措置率	一般財源(町負担分)	備考
合併特例事業債	7,658,719	70%	2,297,616	
臨時財政対策債	6,284,936	100%	0	
上記以外の地方債	4,598,253	—	4,598,253	交付税措置を見込まない場合
合計	18,541,908		6,895,869	

基金残高

(単位:千円)

基金名	平成30年度末残高	令和元年度末残高	元年度中増減額	備考
財政調整基金	1,559,898	1,561,616	1,718	町財源の不足調整に備える基金
減債基金	762,111	912,877	150,766	起債の償還に備える基金
その他の特定目的基金	3,770,223	4,091,247	321,024	特定の目的にためて備える基金
土地開発基金	47,676	47,720	44	土地の取得のために備える基金
合計	6,139,908	6,613,460	473,552	

令和元年度財政力指数

	財政力指数	県内順位
富士河口湖町	0.65	9
県内市平均	0.58	
県内町村平均	0.52	
県内市町村平均	0.55	

平成30年度自主財源比率(普通会計)

	自主財源比率	県内順位
富士河口湖町	51.5	8
県内市平均	43.4	
県内町村平均	47.3	
県内市町村平均	45.4	

Q 都市と地域の両方の良さを活かして働く・楽しむリビングシフトについて
新型コロナ拡大により、密を防ぐ新しい生活様式を築くため、地方移住を含めたビジネスや経済活動が動き出している。

A 政策企画課長
首都圏エリアへの便利なアクセス環境や、富士山と湖、恵まれた自然環境とともに働き・楽しむ生活スタイルなど、富士河口湖町の魅力をこれまで以上に発信するとともに、ご提言いただいたワーキングスペースの整備やサテライトオフィス、インターネット環境の整備、情報発信、受け入れ体制構築や人材マッチングなど、地域の価値を高めいくことにより、誰もが住み続けられるまちづくり

Q 新型コロナ拡大により、密を防ぐ新しい生活様式を築くため、地方移住を含めたビジネスや経済活動が動き出している。

が実現できるのではない

A 一般質問者 佐藤 安子
Q 長崎知事は、6月県議会において、重度心身障害者の負担軽減と国庫負担金のペナルティー回避できる新たな仕組みを検討するとの答弁をして予算も計上している。本答弁を踏まえて、当町の重度心身障害者の現状を鑑み、医療費助成の新たな仕組みについて、町長のお考えを伺う。

A 福祉推進課長
長崎知事は、6月県議会において、重度心身障害者の負担軽減と国庫負担金のペナルティー回避できる新たな仕組みを検討するとの答弁をして予算も計上している。本答弁を踏まえて、当町の重度心身障害者の現状を鑑み、医療費助成の新たな仕組みについて、町長のお考えを伺う。

A 健康増進課長
この事業を推進するには、町の高齢者の相談拠点となっている地域包括支援センターの運用の再構築を含めた府内の組織体制の検討や、総合相談の支援チームの人材確保、まちづくりコーディネーター等の参画など、多くの課題があるが、これから地域住民の生活環境が変化していくことを踏まえると、本事業は重要なと考える。今後は、県から、府内関係課と課題検討に取り組み、地域共生社会に向けた新たな包括支援と多様な参加・協働の推進に向けて考えていただきたい。

えている本人と家族を中心とした支援へと福祉の大転換を図ることが期待されている。来年4月からスタートする本事業について、当町としても事業として取り組んでいくことが必要と考えるが。



A 山梨県のPCR検査の実施状況は、接触確認アピリで接触確認された方も検査するなど、他県に先駆けて、緩やかな基準で運営している。合わせて医療・介護・福祉施設における感染予防対策を徹底している。

Q 県内でのコロナ感染の広がりのなかで、不安の声がある。その解消のためには、PCR検査の拡充で、無症状の感染者を発見し、保護していくことで、感染拡大を抑制していくしかない。特に、医療・介護・福祉の分野に従事する職員全体を対象にしたPCR検査実施を県に要望を。

A 健康増進課長
観光課長

PCR検査を県に要望を。

Q コロナ禍における雇用調整助成金の特例措置が12月まで延長された。雇用を守るために不可欠な措置だが、学生アルバイトやパート、派遣など非正規雇用においては活用されていない場合もある。現在は、労働者が申請する制度もできているが、周知が十分されていない。特例措置の延長について、事業者や労働者に十分な周知を。

A 観光課長

町の財政規模は小さく、協力金の支給は厳しい。商工会や金融機関に協力をお願いし、融資の有効活用などの支援を実施していく。

Q PCR検査の拡充を県に要望を



一般質問

一般質問者 山下 利夫

ている。町ではホームペー
ジ、観光課のカウンターへ
のパンフレット設置により
周知している。



コロナ禍のもと、大
雨などの災害が発生
した場合、避難所の運営に
おいて、今まで以上に感
染対策を徹底する必要があ
る。町では、避難ルームテ
ントの購入や観光連盟との
協定など取り組んでいる
が、「3密」を避けるため

A 地域防災課長

避難所においては十分なスペースを確保する。
避難所の手指消毒や健康管
理など実施するため、消毒
液や非接触型の体温計など
を備蓄した。感染の疑いが
ある場合は避難ルームテ
ントなどによりスペースを確
保する。災害の規模が大き
い場合は、協定を締結した
宿泊施設への避難など、様
々な場面を想定し、避難所
の環境を整えていく。



避難ルームテント

避難所の感染対策の具体的検討を

雨などの災害が発生
した場合、避難所の運営に
おいて、今まで以上に感
染対策を徹底する必要があ
る。町では、避難ルームテ
ントの購入や観光連盟との
協定など取り組んでいる
が、「3密」を避けるため

Q 避難所の定員減、感染者や
発熱者などの専用スペース
の確保を含めた避難所のレ
イアウトなど、早急に具体
的な検討が必要だ。

A 地域防災課長

避難所においては十分なスペースを確保する。
避難所の手指消毒や健康管
理など実施するため、消毒
液や非接触型の体温計など
を備蓄した。感染の疑いが
ある場合は避難ルームテ
ントなどによりスペースを確
保する。災害の規模が大き
い場合は、協定を締結した
宿泊施設への避難など、様
々な場面を想定し、避難所
の環境を整えていく。

議会の委員会構成が変わりました

9月の定例会で改選が行われ、委員会などの委員が新しくなりました。

◎委員長 ○副委員長

令和2年9月25日現在

【議 長】 中野 貴民		【副議長】 古屋 幹吉						
総務常任委員会委員	◎堀内 昭登 中野 貴民	○山下 利夫 佐藤 安子	古屋 幹吉 小佐野 快	渡辺 英之 井出 總一	半田 幸久 三浦 康夫			
文教社会常任委員会委員	◎渡辺 美雄 中野 貴民	○渡辺 武則 山下 利夫	古屋 幹吉 佐藤 安子	本庄 久 堀内 昭登	外川 満			
産経土木常任委員会委員	◎渡辺 英之 渡辺 武則	○倉沢 鶴義 渡辺 美雄	本庄 久 梶原 義美	半田 幸久 三浦 康夫	外川 満			
議会広報常任委員会委員	◎小佐野 快 渡辺 武則	○外川 満 佐藤 安子	古屋 幹吉 梶原 義美	渡辺 英之	半田 幸久			
議会運営委員会委員	◎三浦 康夫 梶原 義美	○井出 總一 堀内 昭登	渡辺 英之 倉沢 鶴義	渡辺 美雄	小佐野 快			
富士河口湖町消防委員会	渡辺 英之	半田 幸久	小佐野 快	梶原 義美				
富士河口湖町都市計画審議会委員	渡辺 美雄	中野 貴民	山下 利夫	倉沢 鶴義				
富士河口湖町国民健康保険運営協議会委員	渡辺 英之	外川 満	渡辺 武則	渡辺 美雄	小佐野 快			
富士河口湖町介護保険運営協議会委員	古屋 幹吉	梶原 義美	三浦 康夫					
富士河口湖町地下水保全審議会委員	三浦 康夫	倉沢 鶴義						
富士河口湖町温泉事業運営審議会委員	渡辺 武則	渡辺 美雄	山下 利夫					
河口湖簡易水道事業運営審議会委員	本庄 久	半田 幸久	外川 満					
富士河口湖町公共下水道審議会委員	古屋 幹吉 三浦 康夫	本庄 久	中野 貴民	小佐野 快	井出 總一			
山梨赤十字病院運営協議会委員	渡辺 美雄	佐藤 安子	梶原 義美	井出 總一	倉沢 鶴義			

議会活動日程

7月

- 8日 町村議会議長会議
- 14日 町村議会広報編集委員長会議
- 15日 町村議会運営委員長会議
- 27日 リニア中央新幹線建設促進
山梨県期成同盟会総会
- 30日 町議会臨時会

8月

- 25日 富士五湖広域行政事務組合定例会

9月

- 1日 全員協議会・議会運営委員会
- 8日～25日 町議会定例会
- 28日 鳴沢・富士河口湖恩賜国有財産保護組合議会
河口湖南中学校組合議会

公開します 議員の賛否

審議した議案とその結果



令和2年 9月定例会

(本会議) 議案審議 (9/8、9/23、9/25)

(第3回)

一般質問 (9/10)

会期: 9/8(火) ~ 9/25(金) 18日間 (決算特別委員会) (9/11~9/16)

上程議案・概要・結果	結果	古屋 幹吉	渡辺 英之	本庄 幸久	半田 満	外川 武則	渡辺 美雄	渡辺 貴民	中野 利夫	山下 佐藤 安子	小佐 野快	梶原 義美	堀内 昭登	井出 總一	三浦 康夫	倉沢 鶴義
賛成: ○ 反対: × 討論: 討 欠席: 欠 全賛: 全員賛成で可決・認定・採択 賛多: 賛成多数で可決・認定・採択																
令和元年度富士河口湖町水道事業会計決算	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	×	討	○	○	討	—	○
令和元年度足和田簡易水道事業特別会計 歳入歳出決算	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	×	討	○	○	討	—	○
令和元年度一般会計歳入歳出決算	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	×	討	○	○	—	○	○
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	×	討	○	○	—	○	○

*議長は賛否同数の場合のみ、議長採決として賛否表明します。

令和元年度富士河口湖町歳入歳出決算	結果	精進特定環境保全公共下水道事業会計	全賛
船津財産区特別会計	全賛	温泉事業特別会計	全賛
小立財産区特別会計	全賛	令和2年度富士河口湖町補正予算	
大石財産区特別会計	全賛	一般会計(第5号、第6号)	3億4156万円増額
河口財産区特別会計	全賛	船津財産区特別会計(第1号)	歳出予算組替
西深沢外十三恩賜原有財産保護財産区特別会計	全賛	小立財産区特別会計(第2号、第3号)	歳出予算組替
勝山財産区特別会計	全賛	大石財産区特別会計(第1号)	歳出予算組替
長浜財産区特別会計	全賛	河口財産区特別会計(第2号)	歳出予算組替
西湖財産区特別会計	全賛	勝山財産区特別会計(第1号)	歳出予算組替
大嵐財産区特別会計	全賛	長浜山財産区特別会計(第1号)	歳出予算組替
青木ヶ原外七字及び小合山外七字恩賜原有財産保護財産区特別会計	全賛	西湖財産区特別会計(第1号)	歳出予算組替
精進財産区特別会計	全賛	国民健康保険特別会計(第2号)	2954万円増額
本栖財産区特別会計	全賛	後期高齢者医療特別会計(第1号)	172万円増額
富士ヶ嶺財産区特別会計	全賛	介護保険特別会計(第2号)	1億110万円増額
大室山外三十字恩賜原有財産保護財産区特別会計	全賛	精進特定環境保全公共下水道事業会計(第1号)	10万円増額
小立簡易郵便局事業特別会計	全賛	条例の一部改正	
富士ヶ嶺簡易郵便局事業特別会計	全賛	富士河口湖町固定資産評価審査委員会条例の一部改正	全賛
河口湖治水事業特別会計	全賛	富士河口湖町手数料条例の一部改正	全賛
国民健康保険特別会計	全賛	人事案件	
後期高齢者医療特別会計	全賛	監査委員選任同意	全賛
介護保険特別会計	全賛	報告	
介護予防支援事業特別会計	全賛	令和元年度決算に基づく財政健全化判断比率等の報告	全賛
船津公園墓地事業特別会計	全賛	令和元年度一般会計予算継続費精算報告	全賛
小立公園墓地事業特別会計	全賛	令和2年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価	全賛
勝山公園墓地事業特別会計	全賛	契約	
河口湖簡易水道事業特別会計	全賛	財産の取得(公立学校情報機器共同調達)	全賛
上九一色簡易水道事業特別会計	全賛	その他	
下水道事業特別会計	全賛	教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育国庫負担制度拡充を図るための請願	全賛
本栖下水道事業特別会計	全賛		



‘ワークーションで西湖を元気に’



西湖ワーケーション
協議会
河西 和奈



私は、3年程前にご縁あつて根場地区の古民家を活用した飲食店に携わることになりました。それから、足を運ぶたびたくさんの魅力を発見してきました。歴史、気候、湖、樹海の力強さ、毎日の富士山の表情、なぜか時間がゆっくりと流れていること、地元の方々のあたたかさ、などとにかく沢山。その魅力をもつと多くの人に訪れて知つてもらいたいと思うようになりました。

2020年、富士河口湖町西湖地区でのワークーションを推進するため『西湖ワーケーション協議会』を発足しました。『サイコワーカー』と題し、古民家を活用した新しい滞在施設の提案、SUP・樹海トレイル・サイクリングの3つの体験コンテンツを軸に西湖地区の魅力がたくさん詰まつたワークーションを発信することを目的としています。

コロナウイルスの影響で様々な生活様式が変化しました。未だに現実で起こっている出来事じやないんじやないかと思つてしまします。今まで見えなかつた事が見えてきたり、新しい環境に順応する為に日々ストレスを感じることも多いのではないでしょか。

これからはウイズコロナです。都心から短時間で訪れることができるこの地域で、働きながら



根場地区古民家

私は、3年程前にご縁あつて根場地区の古民家を活用した飲食店に携わることになりました。それから、足を運ぶたびたくさんの魅力を発見してきました。歴史、気候、湖、樹海の力強さ、毎日の富士山の表情、なぜか時間がゆっくりと流れていること、地元の方々のあたたかさ、などとにかく沢山。その魅力をもつと多くの人に訪れて知つてもらいたいと思うようになりました。

2020年、富士河口湖町西湖地区でのワークーションを推進するため『西湖ワーケーション協議会』を発足しました。『サイコワーカー』と題し、古民家を活用した新しい滞在施設の提案、SUP・樹海トレイル・サイクリングの3つの体験コンテンツを軸に西湖地区の魅力がたくさん詰まつたワークーションを発信することを目的としています。

これからも、古民家再生（空き家活用）＝地方創生になることを信じて空き家対策の問題に取り組んでいきたいと思います。

議会見聞録の原稿を依頼されたのは、九月定例会の終わった後でした。コロナのためか、今回の議会では傍聴人がいないとのことで、誰から伝わったのか、いつもテレビで議会を見ている私に声がかかりました。

常日頃から広報を読んだり、支援している議員から町の情勢に聞いていろいろ聞いたりして、情報収集に努めていますが、やはり議会を見ているとどんな施策が進められているのか、どこで予算を使われているのかがよくわかります。

そんなわけで、今回の議会もテレビの生中継で見たので

議会 見・聞・録



ですが、コロナ対策のための町の動きがわかり、非常に参考になりました。やはり重要事項は議会の承認をしっかり得ることによって、初めて遂行され、民主主義が機能的に働いているなあと感じました。また、今議会では議長副議長が刷新され、フレッシュな感じがしました。おそらく、慣例に基づいて進められていると思いますが、議会の様相が一変した感があり、若返りが進んできたのだと思いました。若返りが進むと議論が活発になるような気がします。これからの議会が楽しみに感じました。

(町内自営業)

議会を傍聴しませんか？ 次の定例会は12月です

どなたでも傍聴できます。
議場入口で受付を済ませ傍聴してください。
入口には注意事項が掲示されています。



●議会広報常任委員会
委員長 小佐野
副委員長 外川
委員 倉持 半田
渡辺 古屋
藤原 佐渡
義美 安子
武則 幸久
英之 幹吉
満快

(渡辺英之)

議会広報常任委員会
委員長 小佐野
副委員長 外川
委員 倉持 半田
渡辺 古屋
藤原 佐渡
義美 安子
武則 幸久
英之 幹吉
満快

議会広報常任委員会
委員長 小佐野
副委員長 外川
委員 倉持 半田
渡辺 古屋
藤原 佐渡
義美 安子
武則 幸久
英之 幹吉
満快

編集後記